

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	くれよんLINO		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年11月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・過ごす部屋が広く二部屋あり、子どもの発達や相性等を考慮して安心できる環境を整えることができる	・その日の活動内容によって部屋を分けたり、子どもの様子を見ながら部屋を分けて活動している	・遊びの中での発達をもっと周知していき、子ども達一人ひとりの遊びや行動の観察を深めていく
2	・活動プログラムは子どもに合わせたものを取り入れている 季節に応じたイベントや活動を実施している	・一人ひとりに合った活動が出来るようにしっかりと課題を準備し、常に新しいことを取り入れていくようにしている ・四季を感じることでできる活動を実施し、学校休業日にはお出かけや買い物に行き、他が開催しているイベントには積極的に参加している	・職員全員で支援の話し合いをこれからも継続し、より良い支援に繋がるように、様々な視点の意見を今以上に大切にしてい ・子どもたちの興味のある活動をどんどん取り入れていく ・イベントはこれからも継続して参加していく
3	・ご家族の方に写真や動画などで活動の様子を伝えている ・必要に応じて定期的な面談以外にも面談を行ったり、電話やSNSを使って情報を提供したり、情報の共有をしている	・くれよんの理念である寄り添った支援を行えるようご家族との関係を構築し、相談や話がしやすい環境を提供出来るようにしている ・事業所の様子が見えるよう様々なツールを使い発信している	・ご家族同士で話が出来る茶話会を開き、皆さんが楽しく集える場所の提供をし、職員とご家族も面談などの機会にもっと話などが出来るようにしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学校や学童との交流ができていない。 ・他事業所との連携が難しい	・事業所からのアプローチが少ない ・相手側から閉ざされてしまうこともある	・事業所からの声掛けや、日々送迎時等での先生とのやり取りや、相談支援専門員とのやり取りで連携を深めていく
2	・ご家族に対してペアレントトレーニングや家族へ向けての研修会ができていない	・職員の専門的知識不足や人員の確保が難しいため行えていない ・研修は日程や望む内容が保護者の方によって違うため先延ばしになっている	・職員の研修を充実させ、専門的な知識を深めていく ・外部講師を呼んでの研修会も考えていく
3	・地域との交流など地域に開けた事業所運営ができていない	・地域の行事は出来るだけ参加しているが、事業所が休みの日に開催されることが多く参加が難しい	・参加できる行事には積極的に参加していく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くれよんLINO				公表日		2025年2月20日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			1	活動によって部屋やスペースを変えている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	基準人員以上の職員を配置している	休憩時や送迎時に人が手薄になることがあるので、固まって出ることの無いように考えていきたい			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		子ども達が見て分かる環境を作るよう職員間で話し合いながら視覚支援の構造化を図っている	入口やトイレへの通路が狭くバリアフリーと言えない			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の清掃や子どもの様子や場面によって物を移動させたり、片付けをする等して環境を整えるようにしている	今後も継続していく			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	部屋数は限られているが必要となったときには部屋を個別で使ってもらっている	部屋数が少ないため一度に対応することは難しい			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	毎月のミーティングや法人の常勤ミーティングで実施している	ミーティングに参加していない職員にもしっかりと周知していく			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	評価表等の意見を把握し対応するようにしている	今後も保護者の方の意見などを把握する場(送迎時、面談時、評価表など)を活用していく			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	いつでも話が出来るようにしている	ゆっくりとお話することができていないので、話以外でもスタッフ同士が意見できるように考えていきたい			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	理事会で評価している	支援内容に限らず、業務内容に関しても、客観的に評価を受けられるような体制づくりが課題			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	外部研修の案内をしており、希望があれば受講することができる。また、オンライン研修を取り入れ、自宅でも見ることができるようになっている	スタッフによって受講の差が大きいので、研修の内容を職員間で共有していく			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	3	支援プログラムは話をし作っている	こども家庭庁の示す支援プログラムの公表は、現在作成途上であり、内容を確認後に公式HPにて掲載予定である。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		日々の支援や保護者の方、相談支援員等の情報なども含めてニーズや課題を分析し計画作成を行っている	令和6年より個別支援計画の様式が変わり、書き方に慣れず苦労した。今後もよい支援が行えるよう丁寧な個別支援計画の作成に努めていきたい。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員で意見や気づきを出し合い、話し合う機会がある。	これからも職員間で共通理解して支援ができるよう伝え方、話し合いの方法を工夫していきたい			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		全職員がいつでも見ることができるようになっている	全職員に周知できる方法を考えたい			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		保護者の方や相談支援員の方から頂いた情報とアセスメントシート、日々の活動をなどから状況を把握するように努めている	心理士等専門職が使用しているものはなく、本人の状況や、保護者、相談支援員、他事業所の情報などからアセスメントしている			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		家族のニーズや、本人の意向を踏まえ、包括的な支援を柔軟に実施できるよう、支援計画の作成、支援の提供を実施している	移行支援や地域支援については密な内容を示すことができていないので、今後も勉強しながら多角的な視点で作成できるようにしたい			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	ミーティングなどを含め担当者によりプログラムの立案等をしている。	常勤、パートで分けてしまうことの無いように全員1チームで特定の職員のみでの立案にならないように全職員が意識していきたい			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		子ども達が楽しんで参加でき、また、同じプログラムでも利用する子ども達の顔ぶれによって内容を変えるなどしている	活動が重なったりすることもあるのでしっかりと確認しプログラムを考えていきたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		子どもに合わせた活動をしており、季節を感じたり、楽しめるように工夫している。集団が苦手な場合は、無理には参加せず少しでも集団と接しているような活動を取り入れるなどしている	集団が難しい場合のプログラムをもっと考えていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	ミーティング等で予め伝えており、当日は担当職員がスタッフへ共有している	その日の職員が全員集まって話をする時間がないので、紙媒体などですぐに確認出来るようなものを考えていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	業務日誌や個別ノートで確認できる	終業時間がバラバラなため職員が集まるのが難しい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援に対する記録、日常生活での出来事に関する記録、会議等の記録については議事録等を作成している	職員全員が何のための記録でどんな記録方法が適切なかを考えて対応できるスキルを身につけていくことが課題。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	最長6ヶ月に1度のモニタリングを実施している。また、状態や必要性に応じて、適宜モニタリングを実施している。	半年間、職員全員が常に個別支援計画を意識し続けることは難しく、継続した支援が行われにくいケースもある
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		地域行事などへの参加は積極的に行っている	イベントへの参加等の呼びかけや参加はするが、支援としては提供できているかという課題である
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	2	段階やステップにもよるが、可能な限り本人の意思決定がしやすいような体制とし、その決定を尊重するようにしている	選択することが難しい子にも選択できるようなものを増やし、ルールとセットで学べるような工夫を検討していきたい
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		主に児童発達管理責任者が参画しており、担当者、会議前には職員から聞き取りも行っている	担当職員が参画することが望ましいが、担当職員に限らず状況が理解できているようにしていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		学校や事業所など連携できるように取り組んでいる	医療機関との連携は難しく課題である
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校の一斉送信のメールに登録や学年だよりを頂いたり情報をいただいている。また、お迎え時に確認することもある。	メールや学年だよりは全ての学校で出来ているわけではなく限定的である。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	相談支援員から情報を得ようとしている	就学前に利用していた施設との情報共有はほとんどできていないため、出来ることを増やしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	情報を提供する事例がなかった。要望があれば情報共有をしていく	いつでも情報共有出来るようにまとめておく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	発達支援センター主催の講演や研修へ参加している	研修の参加を今後も積極的に行っていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	公園などで地域の子どもの交流をしている	放課後児童クラブや児童館との交流はできていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	児童通所サービス等事業所連絡会に参加している	決まった人ばかり行くばかりでなく常勤職員何名かで参加していきたい
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎、面談時、LINEなども使い保護者の方と話をしている。	誰にでも聞けるようにしていきます	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	保護者向けの研修等の情報共有を行っている	事業所としてペアレントトレーニングはできていないので、実施できるように法人として考えていく	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明を行っており、不明点は都度お答えしている	今後も丁寧な対応に努めたい
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		ご家族との契約や面談時にモニタリングを行い、意見を聞き、サービス等利用計画も反映しながら作成している	こどもの意思を確認することが難しい場合もあり、どのように確認するかが課題である
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		都度説明し同意を得ている	今後も丁寧な対応に努めたい
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期的に面談を行い、気になることがあれば連絡帳、口頭、面談、電話、LINEなどで話ができるようにしている。	自分から伝えにくい保護者への声掛けをもっと実施していく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		法人で茶話会という名でを年に1回開催している	出席者が少なかったり時間の問題があるので、回数を増やしたり時間を伸ばすなど考えていきたい。保護者の疑問や困りごとを取り上げた話し合いの場の提供をしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情あ意見があればその都度話し合いをし、なにか要望等を伺った場合はできる限りの対応をしている	今後も丁寧な対応に努めたい
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		くれよんLINOつうしんを毎月1度発行しており、SNSなどでも情報を発信している	個人情報に注意して実施していく。更新が続かないことが多いので運用出来る人を増やしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取り扱いについては職員間で周知徹底の上で、管理に努めている。	今後も継続していく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		こちらで用意できるツールを使う等配慮している	今後も継続していき、必要であればツールを増やしていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		地域の方を招待する行事は行っていない	今後招待できるような環境が整えば実施していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルは策定、周知しており、避難訓練も年2回以上実施している	HPなどに掲載し、いつでも確認が取れるようにする
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを作成しており、年に1度以上の訓練等も実施している	様々なことを想定した訓練を検討し実施していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		保護者の方とのやりとりで発作や投薬の情報をし職員間で共有している	今後も丁寧な対応に努めたい
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者の方に契約時に記入してもらい、職員間で情報共有をしている	医師の指示書はもっていない。必要があれば今後検討していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成している	適宜見直しをしていく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画を作成している	家族等への周知は完全には出来ていないため、HPに載せる等で工夫していきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットシート作成し、職員間でもミーティング時に共有している	これからも継続していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	オンラインでの研修をはじめ、自治体、関係機関での研修への参加を実施している	これからも継続していく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		委員会を設置し、定期的に話し合っている。研修の計画・実施を行っている。また、保護者には身体拘束同意書にて了承を得ている	これからも継続していく

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2025年2月20日

事業所名：くれよんLINO

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じたスペースは確保している。	はい : 21 いいえ : 0	どちらともいえない : わからない :	広さはあるので活動も分けている
	2 職員の適切な配置	10名に対して3~4名の配置をしている。また活動や行事内容により職員の配置を増やすようにしている。	はい : 18 いいえ : 0	どちらともいえない : わからない :	これからも適切な配置をしていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関は戸建てのため段差はあるが事業所内は段差はない。	はい : 21 いいえ : 0	どちらともいえない : わからない :	子どもに合わせた情報伝達の取り組みをこれからも工夫していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	換気、手洗い、消毒をし、毎日掃除と消毒を行っている。	はい : 21 いいえ : 0	どちらともいえない : わからない :	今後も継続していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	毎月ミーティングを行い意見を出してもらうようにしている。	/		今後も継続していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	連携機関や構成労働者などの評価基準を元に業務改善を行っている	/		いろいろな情報を元にこれからも業務改善を進めていく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	リモート、動画、講演会などによる研修に参加し、職員のスキルアップに努めている。	/		これからも積極的に研修などに参加し、資質の向上に努めていく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年に1度は見直しを行い課題などを保護者の方と共有して作成している。	はい : 21 いいえ : 0	どちらともいえない : わからない :	ニーズや課題などを保護者の方と共有しこれからも計画を作成していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの特性と現在の様子を見ながら個別活動、集団活動を組み合わせるように支援計画を作成している。	はい : 21 いいえ : 0	どちらともいえない : わからない :	子どもの状況を見ながら無理のない計画を作成していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもや保護者の方々の思いに添うように課題を設定し、具体的に記載している。	はい : 21 いいえ : 0	どちらともいえない : わからない :	解りやすく記載するように努めていく。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員で共有し、個別支援計画に沿った支援をしている。	はい : 21 いいえ : 0 どちらともいえない : 0 わからない :	目標達成に向けて適切な支援をしていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	ミーティング名は全員参加してもらい、話し合いをしプログラムを決めている。		これからも職員全員で内容を検討し、実施していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	月、週とスケジュールを立て内容を決めている。長期休暇はその時期にしか出来ないような活動を取り入れて組み込んでいる。	はい : 19 いいえ : 0 どちらともいえない : 2 わからない :	様々な社会資源を活用し、その時々に応じた支援をしていきたい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節のイベントや外部からの情報を取り入れて工夫に努めている。		プログラムが固定化しないように取り組んでいく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援前にはスケジュール表などで確認している。		今後も継続していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了後には個人ノートを書き、その日いた職員で振り返りをし、ミーティングなどで共有している。		今後も継続していく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日記録を残し、職員間で話し合い、情報を共有している。		わかりやすく記録するようにしていく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングを実施し、半年に1度は計画の見直しをしている。		今後も必要に応じて見直しを行っていく。	

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	要望があれば担当者が参画している。		必要に応じて連携をとっていく。
	2	<b>（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児なし。		
	3	<b>（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児なし。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業所を通し情報を共有している。		今後も継続していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要に応じて情報提供を行う。		必要に応じて情報提供を行う。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	子どもによって専門機関との連携は取っている。また専門機関での研修も受講するようにしている。		今後も継続していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会	地域の公園などでの交流は行っている。	はい : 9 いいえ : 3 どちらともいえない : 1 わからない : 8	交流出来る場所を増やしていきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	感染症が治まっていなかったため招待はしていない。		来年度も状況を見て判断していく。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明している。	はい : 21 いいえ : 0	どちらともいえない : 0 わからない :	解りやすく説明していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談や送迎時などに説明している。	はい : 20 いいえ : 0	どちらともいえない : 1 わからない : 0	電話などでも対応し説明していきたい。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの相談に対しては家庭支援として対応しているがトレーニングの実施には至っていない。	はい : 14 いいえ : 1	どちらともいえない : 2 わからない : 4	保護者の方に寄り添い悩みなど共有しいつかはペアレントトレーニングが出来るようにしていきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や面談時に話をしたり、連絡ノートやLINEなどで状況などを伝え共有している。	はい : 21 いいえ : 0	どちらともいえない : 0 わからない : 0	共通理解が出来るように努める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や来所時、また電話などで対応し、話をしている。	はい : 20 いいえ : 0	どちらともいえない : 1 わからない : 0	話しやすい場面作りと、適切な対応が出来るように努める。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	名称は異なるが茶話会を開催し、保護者の方々と話をする機会を持った。	はい : 17 いいえ : 0	どちらともいえない : 3 わからない :	今後も継続していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	職員間で話し合い、迅速かつ適切な対応に努めている。	はい : 17 いいえ : 0	どちらともいえない : 0 わからない :	今後も継続していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもにはその子どもに合った方法(絵カードなど)で、保護者の方には送迎時やLINE,電話などで行っている。	はい : 20 いいえ : 0	どちらともいえない : 0 わからない :	今後も継続していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	【くれよんつうしん】を毎月発行し、またInstagramやブログなどでも活動の様子を発信している。	はい : 19 いいえ : 0	どちらともいえない : 0 わからない :	今後も継続していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は鍵付きの書庫に保管している。	はい : 20 いいえ : 0	どちらともいえない : 0 わからない :	個人情報については全職員に周知徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、緊急時のマニュアルは保護者の方に渡している。	はい : 19 いいえ : 0 どちらともいえない : 0 わからない : 1	これからも情報を発信し、周知徹底していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回は地震、火事、水害の訓練を実施している。	はい : 19 いいえ : 0 どちらともいえない : 0 わからない : 1	様々な場合を想定し、これからも実施していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に2度は必ず全職員に研修を受けてもらい、報告書を提出してもらっている。		今後も継続していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当児なし。		今後対象となる児童が利用する場合は説明記載をする。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りで対応しており、表を作り共有している。		今後も継続していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ミーティングなどで話し合いをし、情報を共有したうえで再発防止に努めている。		今後も継続していく。